

今後の協議会の進め方（案）

1 課題解決に向けた検討について

次年度、今回の木材利用アンケートを踏まえ、本協議会で整理した課題である、

●今後払拭していくべき「民間事業者が抱く、木材の〇〇〇〇に関する不安材料やネガティブイメージ」

について、その実態や実際の施工事例等について情報収集し、木材利用に関心のある事業者に分かりやすく理解してもらえよう検討・とりまとめを行う。

（基本的には1年間でとりまとめまでを想定しているが、課題の内容により時間を要する場合は複数年にわたることも可）

なお、上記の作業は、本協議会の下にワーキンググループを設置し、とやま県産材需給情報センターが中心となって、そのメンバー選定・情報収集・検討・とりまとめを行う。

2 第3回協議会の開催

R6. 10月頃 (1) ワーキンググループでの検討状況について中間報告、意見交換

(2) 次年度、検討していくべき課題について意見交換・決定

(3) 情報提供

県内民間施設における木材利用の取組み（予定）など

(4) 意見交換

3 先進地視察研修（協議会会員を対象）

R6. 9～11月頃 黒部市で建設中のパッシブタウン第5期街区 集合住宅

4 ウッド・チェンジセミナーの開催（幅広い県民を対象）

R6. 秋～冬 民間建築物における木材利用に関するもの

※上記1～4については、何れも予算要求段階のものであることをご了承下さい。